

■松林伯圓(2代目) まつばやしはくえん 高島砲術・・1834＝	講談の中興の祖。幕末は“泥棒伯圓”，維新に対応して“新聞伯圓”“正史講談”で時代を読み，一斉を風靡。 常陸国下館藩郡奉行手島助之進の四男に生まれ，手島達弥と名乗る。実際は1832年生という。
大塩平八郎乱1837＝ 3歳：	
順天堂始・・1843＝ 9歳：	
阿部正弘首座1845＝11歳：	彦根藩画師向谷石溪の養子となるが，講釈好きが高じて離縁になり， 伯母の婚家，幕府作事奉行若林市左衛門の養子となり，本名は若林義行になる。町奉行筒井伊賀守邸などの諸家へ講釈に赴いたりしていたが。 間もなく伊東潮花の門下になり講釈場で働き花郷， ついで，二代目東流斎馬琴の門下となり調林と名乗って高座へ出た。_人気のあった初代(松林亭)伯圓の前講を読み，中風で倒れた初代伯圓を養うべく，その養子になり， *静養中の初代伯圓が安政大地震で圧死したため，二代目襲名すると， この頃，遊びがすぎて喰いつめて，知古であった四代目市川小團次のところに転がり込み，その紹介で寄席へ出て_乾坤坊良斎の原作を脚色した「小猿七之助」などを語って評判となる。「鼠小僧」「業平小僧」「天狗小僧」「獄門初之助」「鬼神のお松」などの白浪物を得意としたため，“泥棒伯圓”の異名をとる。 河竹黙阿弥が「小猿七之助」を歌舞伎化した「網模様燈籠菊桐」を発表。 「雁金五人男」を元にした_「天保六花撰」は傑作とされる。
万次郎帰国・1852＝18歳： ペリー来航・1853＝19歳：	
安政大地震・1855＝21歳：	
蕃書調所・・1857＝23歳： 桜田門外変・1860＝26歳： 遣欧使節・・1861＝27歳：	
明治維新・・1868＝34歳： 初の日刊新聞1870＝36歳：	維新の動乱の際には，品川沖に停泊中の開陽丸に泊まり込んで，「三河後風土記」を読み，彰義隊の戦争を見物に出かけたりしている。
明治6年政変 1873＝39歳： 佐賀の乱・・1874＝40歳： 初の民間工場1875＝41歳： 三つの内乱・1876＝42歳： 西南戦争・・1877＝43歳： 大久保暗殺・1878＝44歳： 琉球処分・・1879＝45歳： ・・・・・1880＝46歳： 明治14年政変1881＝47歳： 新体詩抄・・1882＝48歳：	_浅草寺境内に新聞訓読場が新設されたので，新聞講談を始め，福沢諭吉の演説を見てから，散切り頭でテーブル，椅子を用意し，時には洋服を着て講談を読むなど新しいことに挑戦，“新聞伯圓”とも呼ばれた。 *佐賀の乱が起こるとこれを「佐賀伝法録」とし，以後，“正史講談”と称して， _近世史略」， _開花新話谷の鶯」「照忠奇談」， _西南戦争の従軍記者だった犬養毅の速報， _明治功臣録」， _西洋新未来記」， _世界旅行名誉の新話」など，欧米諸国と日本の落差を平易に語ることも始める。_藤田組の偽札事件の話， _神風連の話， _朝鮮事件(壬午事変)の話などで大いに人気となり，東京，大阪，名古屋などいずれも大入り満員，開花講談師，文明社会の大先達といった賛辞を得る。 自由民権運動が盛んになり，民権講談が生まれると，小室信介「東洋民権百家伝」の文殊丸助や，「山県大貳順天録」，藤田茂吉「文明東漸史」の高野長英などを講じる。 新政府が，講釈師らに民衆を教化する教導師の地位を与えることにしたことから，東京神道事務局より「大講義」の肩書が与えられ，また，他の講談家たちに呼びかけて，浅草で「国民精神振興講談大会」を開催，菊池容斎「前賢故実」や，忠臣孝子列伝，新聞の社会・政治記事などを語る。 _江戸幕府潤沢係の鈴木藤吉郎が収賄で獄死した事件を題材に脚色した「安政三組盃」の速記が，落語家三遊亭円朝の「牡丹灯籠」と並んで出版され，講談速記本のさきがけとなった。また，この藤吉郎の出自が虚構であることを，縁続きの者が森鴎外に訴えたことから，史伝「鈴木藤吉郎」が執筆されている。 その後も民権的題目を演じ，警視庁に召喚されるが，
岩倉具視没・1883＝49歳： 内閣発足・・1885＝51歳：	新政府が，講釈師らに民衆を教化する教導師の地位を与えることにしたことから，東京神道事務局より「大講義」の肩書が与えられ，また，他の講談家たちに呼びかけて，浅草で「国民精神振興講談大会」を開催，菊池容斎「前賢故実」や，忠臣孝子列伝，新聞の社会・政治記事などを語る。 _江戸幕府潤沢係の鈴木藤吉郎が収賄で獄死した事件を題材に脚色した「安政三組盃」の速記が，落語家三遊亭円朝の「牡丹灯籠」と並んで出版され，講談速記本のさきがけとなった。また，この藤吉郎の出自が虚構であることを，縁続きの者が森鴎外に訴えたことから，史伝「鈴木藤吉郎」が執筆されている。 その後も民権的題目を演じ，警視庁に召喚されるが，
初の対等条約1888＝54歳： 帝国憲法発布1889＝55歳： 大本教・・・1892＝58歳： 日清戦争始・1894＝60歳： 八幡製鉄始・1897＝63歳：	明治憲法発布からは態度も軟化し， *鍋島邸で明治天皇への御前講演を行うなど，時代の寵児になったが，
田中正造直訴1901＝67歳：	*舞台上で卒倒し，弟子の右圓に伯圓の名を譲って，横浜鶴見の総持寺のほとりに隠退，
日露戦争終・1905＝71歳：	中風のため，_没した。 生涯に口演した作品は120作を越えたと言われ，時代物や世話物も秀でたほか，創作も意欲的に行い70作以上の新作を手がけた。落語の三遊亭圓朝，歌舞伎の九代目市川團十郎とともに当時の三幅対と呼ばれた。